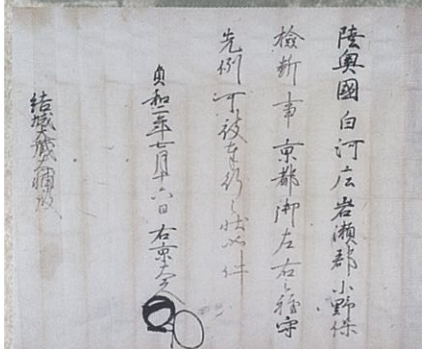
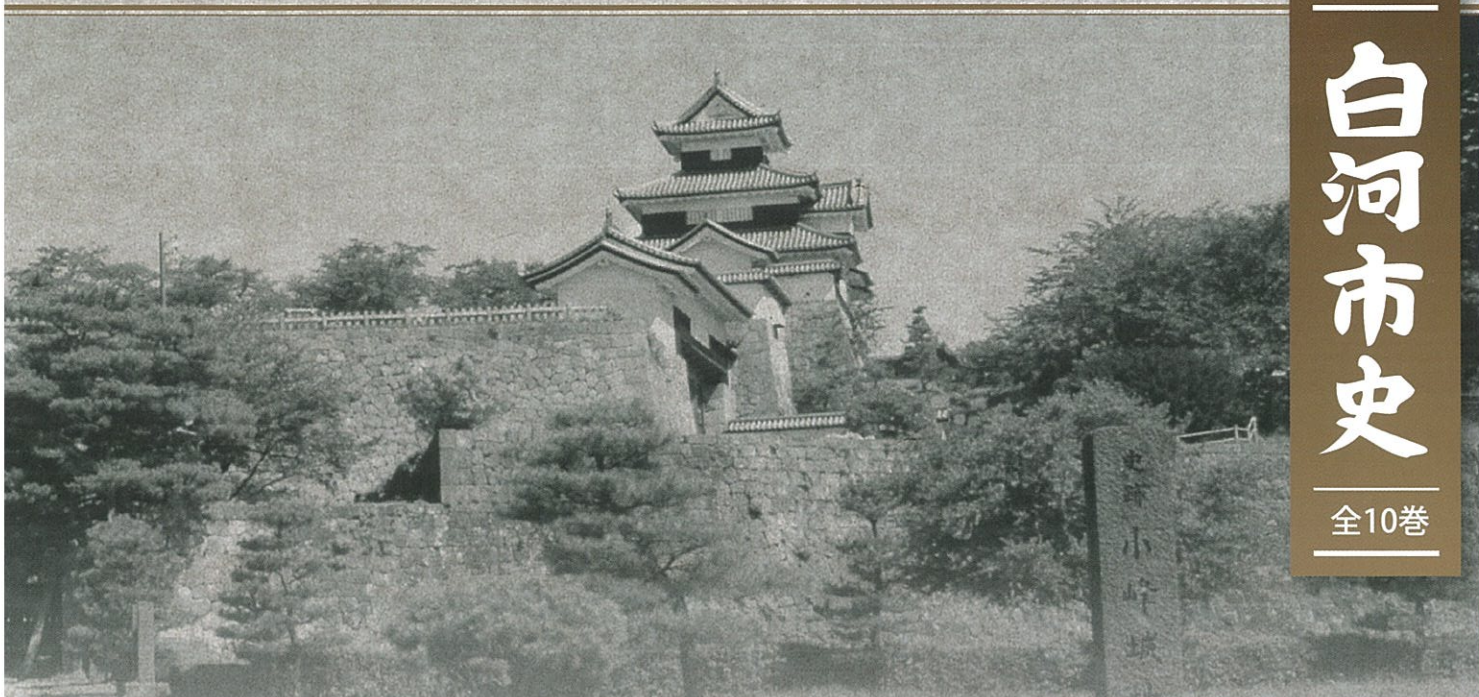


# 白河市史

全10巻



白河結城家文書  
(白河集古苑蔵)



銅造十一面観音懸仏  
(龍藏寺蔵)



木造阿弥陀如来立像  
(極楽寺蔵)



白河関跡



下総塚古墳



天王山遺跡出土 弥生土器(白河市歴史民俗資料館蔵)

## 【通史編】

### 第一巻 通史編1 (原始・古代・中世)

原始時代の人々のくらしの様子や、律令制に取り込まれていく様子、そして激動の中世を文化の面からもとらえてわかりやすく記述しています。

### 第二巻 通史編2 (近世)

安土桃山時代から江戸、戊辰戦争までの封建制度を政治・経済・宗教など、近代へと刻々と変化していった様子を総合的に解説。また、城下町の建設・街道の整備などについても記述しています。

### 第三巻 通史編3 (近代・現代)

政治・経済の急変、そして生活がかつてないまでめまぐるしく変化した社会情勢を詳しく記述しています。

## 【資料編】

### 第四巻 資料編1 (自然・考古)

歴史のまち「しらかわ」を自然と考古資料からみつめる。発掘調査などから得られた貴重な資料を豊富に収録、解説しています。

### 第五巻 資料編2 (古代・中世)

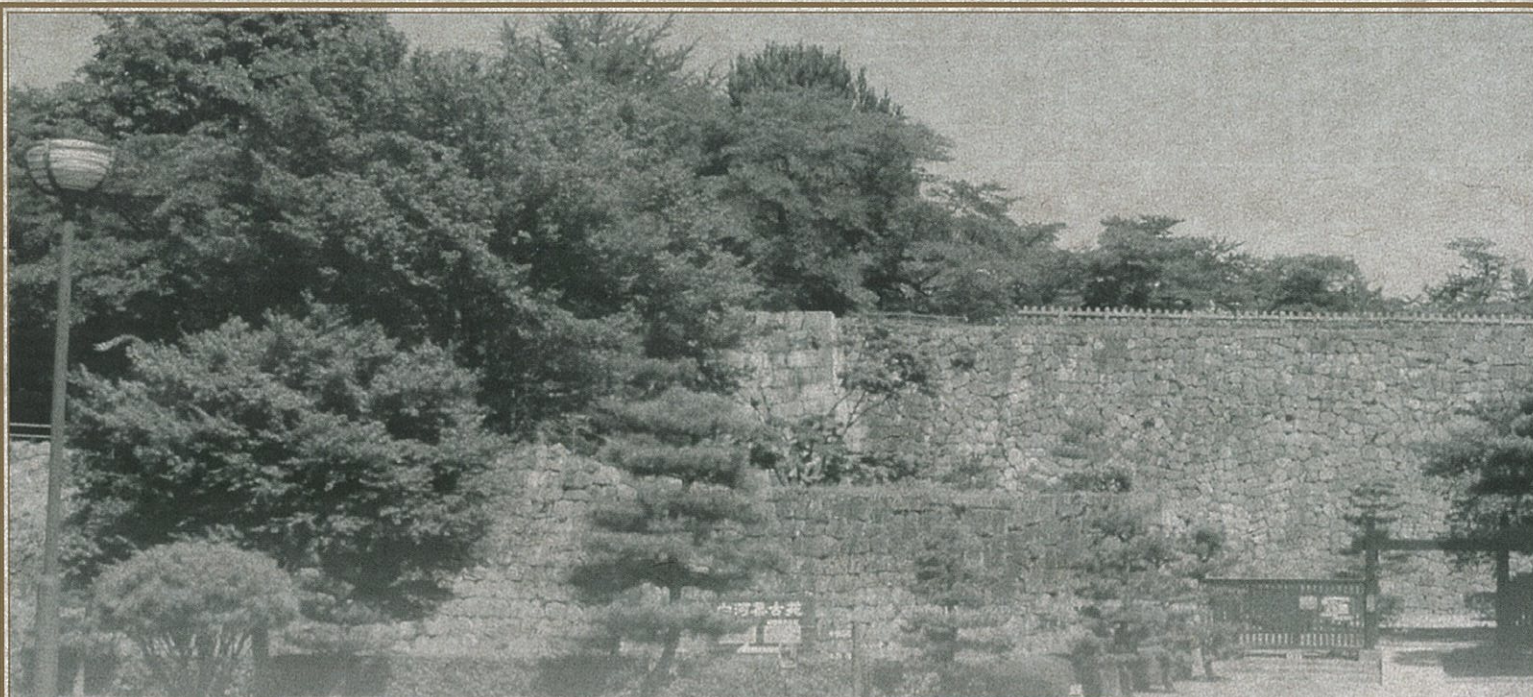
古代に白河関がおかれるなど、東北の玄関口として重要な役割を果たしてきた白河の古代・中世を文献・史料から解明しています。

### 第六巻 資料編3 (近世Ⅰ)

豊臣秀吉の奥羽仕置以後の蒲生氏の支配から寛保二年の松平(結城)氏までの期間を領主・法令・年貢・産業・交通・宗教・文化など市内外に所在する史料を収集し、解説しています。

### 第七巻 資料編4 (近世Ⅱ)





昭和二十二年(1947)八月十九日の  
昭和天皇巡幸(白河駅前)



本町(明治初期・東よりみる)



松平定信(樂翁)像  
(福島県立博物館蔵)



奥州白河城下全図  
(白河市歴史民俗資料館蔵)



提灯まつり(平成十七年九月)



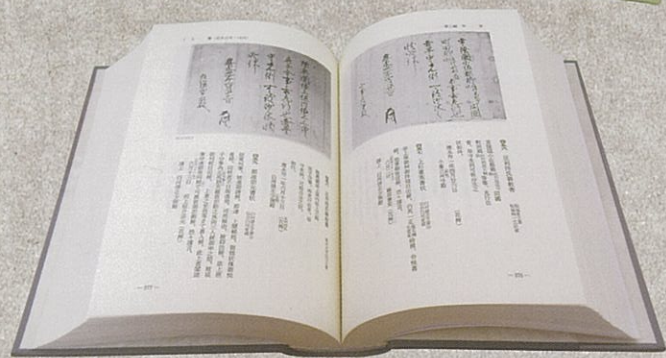
南湖駅に停車中の白棚鉄道の列車



奥州白河南湖真景北面之図(模本 国立国会図書館蔵)



白河市史 一  
白河市史 二  
白河市史 三  
白河市史 四  
白河市史 五  
白河市史 六  
白河市史 七  
白河市史 八  
白河市史 九  
白河市史 十



## 【各論編】

### 第八巻 資料編5 (近代・現代)

明治から昭和に至る政治・経済そしてかつてないほど急激に変化した社会を資料を基に解説しています。

近世に引き続き江戸時代後期の松平(久松)氏の入部から阿部氏の支配、戊辰戦争までを藩政・産業・交通・接・宗教・文化などを史料によりアプローチし、総合解説しています。

### 第九巻 各論編1 (民俗)

白河の風俗・祭り・習慣・生活様式の特徴を初めて収録しています。

### 第十巻 各論編2 (文化・人物・旧町村沿革)

文化財や文学・建築、教育、宗教を通して白河の文化を浮き彫りに。また、白河に生きた人物と旧町村の沿革も記述しています。